第１号様式（第２条関係）

建築物耐震診断概要書

1 建物概要

建物名、建物区分(棟番号)	
面積(対象面積)	㎡
用途	
建築年月日、構造、階数	
建物所有者の名称	
建物の所在地	
実施内容	□耐震診断　□耐震改修計画
基礎、地盤条件	
構造上の特徴	平面(□ほぼ整形・□不整形)、立面(□ほぼ整形・□不整形) 構造形式 (X方向:　Y方向:　) 極脆性柱 (□有・□無)、下階壁抜 (□有・□無) 平面柱抜 (□有・□無)、PCa屋根 (□有・□無)

2 診断方針

診断法(計算法)	□第2次診断、□第3次診断、□応答解析、□新耐震基準(検査済証等) □その他(　)　(□手計算、□電算機)	
電算ソフト(ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ)/(作成者)		
診断実施者名		
診断実施者の資格	(　)建築士(　)登録 第　号	修了証明書番号(　)
連絡先住所 (TEL/FAX/E-mail)	事務所名: 住所: TEL:　FAX:　E-mail:	
診断実施年月日	年　月　日	
材料調査:調査値(標準偏差) 設計値、診断使用値等 (7. 特記)	ｺﾝｸﾘｰﾄ:調査値=　設計値(Fc)=　診断使用値=　～　(N/㎟) 鉄筋:　設計値(σy)=　診断使用値=　(N/㎟) 鉄骨:　設計値(σy)=　診断使用値=　(N/㎟)	
劣化の状況	所見:(　)	

3 診断結果 (Is2又はIs3、CtSD又はqStを*欄に付記して記入、所見に判定、Is0との関係等を記入) ※6F以上は適宜行を追加

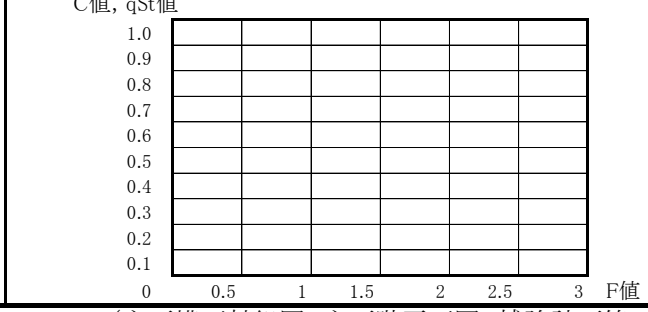
	補強前				補強後				(調査及び診断に関する所見) 目標値:
	Isx	*	Isy	*	Isx	*	Isy	*	
5F									
4F									
3F									
2F									
1F									
最小値									

4 補強計画 (補強方法別に各階の補強箇所数、合計数を記入、所見に判定、Is0との関係等を記入) ※6F以上は適宜行を追加

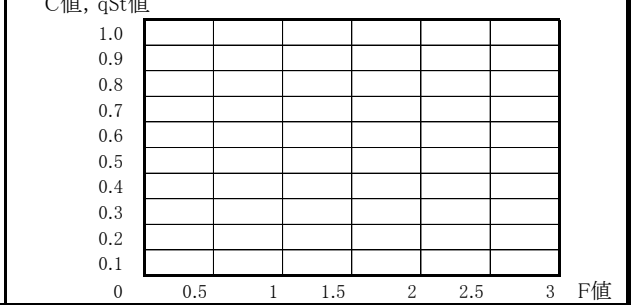
	壁増設	壁補強	袖壁増設	袖壁補強	柱増設	柱補強	ブ増設	ブ補強	スリット	基礎補強	荷重軽減	その他	(補強に関する所見) 目標値:
5F													
4F													
3F													
2F													
1F													
合計													

5 付図 I (補強前後の代表階の①Ct-F関係、主要のCt値(RC造)、又は②qSt-F値(S造)を下記に記入)

X方向〔　階〕



Y方向〔　階〕



6 付図 II (主要構面軸組図、主要階平面図、補強計画等の概要を別紙(A4、2ページ程度)として添付すること)

7 備考

・コンクリート強度試験は、各階毎、各施工時期毎に3本以上のコアを採取することを原則とする。

・コンクリートの調査値、診断使用値は全標本中の最低と最大を記す。

・建築物の耐震改修の促進に関する法律第7条、第22条第1項、第25条第1項又は附則第3条第1項に基づく報告又は申請であって、耐震改修を行う予定のない場合等は、上記4及び5については、記入を要しない。